



# 経済情報コーナー

## 宮城県—吉林省友好提携25周年の 記念事業で宮城の魅力をPR

宮城県経済商工観光部国際経済・交流課主任主査 千葉 歩

宮城県では、昭和62（1987）年に中華人民共和国・吉林省と友好県省に関する議定書を取り交わして以来、幅広い分野で交流を深めてきました。

中国・吉林省は8年連続して高い経済成長率を維持するなど、中国の経済発展を牽引している中心的な地域の一つです。この吉林省の経済発展を受け、両県省では、文化交流や研修員の相互派遣といった交流に加え、経済分野を含めたより裾野の広い交流に取り組んできました。

しかし、一昨年の東日本大震災以降、両県省の相互交流に大きな役割を果たしてきた国際定期航空路線「仙台—長春便」の運休や本県を訪れる外国人観光客数の激減、県産品への輸出規制などにより、吉林省との交流事業についても縮小を余儀なくされました。

こうした中、本県と吉林省との友好提携25周年の節目の年にあたる昨年の4月には、来県した王省長と村井知事との間で共同宣言書を取り交わし、観光・経済交流を一層促進し相互利益を達成していくことを確認しました。また、7月末には「仙台—長春便」の運航が再開され、両県省の交流促進への期待が一気に膨らみました。こうした機運の高まりを捉え、友好交流から経済交流への

展開を視野に、知事を団長とする友好提携25周年記念の訪問団派遣に合わせ、観光・食・文化・経済など多方面にわたり宮城の魅力をPRする取り組みを実施しました。

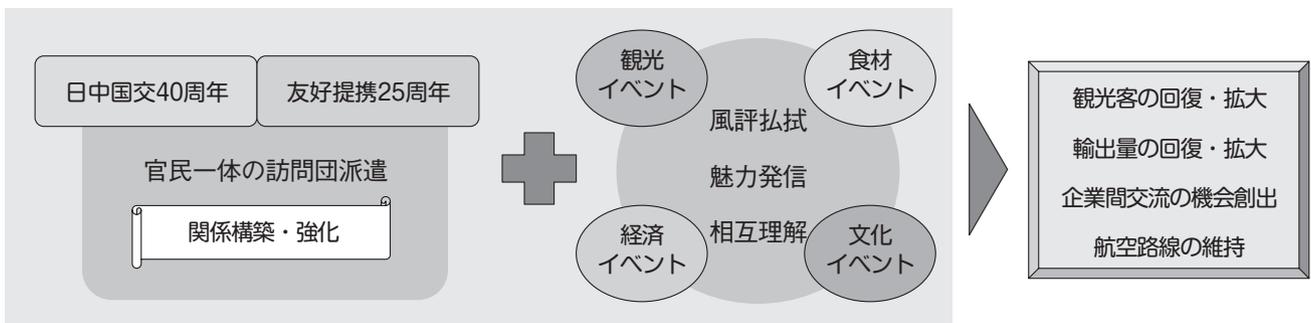
本事業は、クレアの「平成24年度海外経済活動支援特別対策事業 東日本大震災復興支援・風評被害対策枠」として支援をいただき実施したもので、以下、概要を説明します。

### ■ 震災復興・観光イベント ■ 「活力！宮城 in 吉林」の開催

#### 【概要】

- ①開催日 2012年8月7日(火)
- ②会場 シヤングリラホテル長春
- ③対象者 省内旅行者、日本語学校学生、行政関係者、マスコミ、一般市民(約200人)
- ④目的 復興・観光PRによる観光客の回復

観光イベントは、東日本大震災の影響で運航を休止していた「仙台—長春便」の運航再開や、被災3県を訪れる中国人観光客に対する観光ビザの要件緩和・発給開始など同じタイミングで開催したこともあり、参加者が予想以上に多く、吉林省での訪日観光への関心の高さを実感しました。



事業のスキーム



復興・観光イベント会場



観光PRセミナー

本県と東北各県・首都圏との間には、鉄道、飛行機、高速道路などアクセス網が発達しており、数次ビザを活用することで東北・関東エリアまで足を延ばすことが可能です。セミナーでは、県内旅行会社の担当が、具体的なモデルコースなども示しながら宮城・東北の観光地をPRするとともに、会場内の壁一面を観光ポスターで飾り、宮城を訪れた気分を味わっていただきました。特に、仙台七夕祭りの吹き流し展示は非常に好評で、多くの参加者が記念撮影を行っていました。

村井知事が、震災への支援に対する謝意表明と観光誘客のトップセールスを行う様子も現地のマスコミに大きく取り上げられ、吉林省の皆様にも宮城への関心を深めていただく良い機会になったものと思います。



村井知事による観光PR



むすび丸によるステージ

## ■ ■ 食材イベント ■ ■ 「日本料理講習会」の開催

### 【概要】

- ①開催日 2012年8月7日(火)
- ②会場 シャングリラホテル長春内 日本料理レストラン
- ③対象者 省内の日本食料理人、料理研修生、行政関係者(20人)
- ④目的 県産品に対する風評被害<sup>ふっしょく</sup>の払拭と輸出規制解除・販路拡大

本県では、2010年にも省内の料理人や食材バイヤーを対象に料理人講習会を開催し、日本食に

対する県産食材の知名度向上と販路拡大に取り組んできました。現在、原発事故の影響で本県産品の輸出が厳しく規制されており、県産品の



日本料理講習会 郷土食ずんだ餅の実習

安全性を正しく理解してもらうことが急務となっています。講習会では、現地で食に携わる料理人や料理研修生を対象に、県内の老舗旅館の総料理長が、県産食材の安全性や魅力、豊かな食文化についての話を交えながら本格的な日本料理や郷土料理の実演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。参加した現地料理人の方々がスピーカー役となって、県産品の安全性と食文化の魅力が広く省民に伝わり、本県産品の輸入規制解除・消費につながるなど、将来の販路開拓の端緒となることを大いに期待しています。

## ■ ■ 今後に向けて

このほか、訪問中は、友好提携25周年の記念式典に出席し省政府との関係強化を図りました。式典では、昨年4月に締結した共同宣言書の具体的な実現に向け、両県省間で新たな交流計画協議書に署名したほか、仙台空港ビル株式会社と吉林省民航機場集団公司在仙台・長春両空港間での相互PR活動等に関する国際協力協定を結びました。また、今回の訪問団には県内経済界を代表する企業・団体からも参加いただき、吉林省内有力企業トップとの経済交流会も開催しました。

今回の事業を契機として、吉林省との交流が今後ますます深化するとともに、企業間での交流へと裾野が広がっていくことを期待しています。

末筆になりますが、クレアには、北京事務所からの職員派遣など、多大なご支援をいただきました。この場をお借りして、感謝申し上げます。



経済交流会レセプションの様子